

# 親潮

第 307 号  
平成 28 年度 第 1 号

OYASHIO

北水同窓会誌

2016  
307  
No.1

北水同窓会のEメールアドレスが変更になりました | ホームページをリニューアルしました  
hokusuialumni@gmail.com | <http://hokusui.net>



特集 北水の今

## 新・水産生物標本館の竣工

- 退職教員あいさつ
- 第96回定期総会報告
- 会員の受賞
- 追悼
- クラス会報告
- 寄稿 ほか

## CONTENTS

## 特集 北水の今

<b>新・水産生物標本館の竣工</b> .....	3
<small>今村 央(昭63ソ) / 河合 俊郎(平12生)</small>	
<b>北海道大学ホームカミングデー 2016 水産学部卒業生のつどいのご案内</b> .....	6
<b>退職教員あいさつ</b> .....	7
<small>久万 健志(特別会員) / 五嶋 聖治(特別会員) / 桜井 泰憲(昭48ソ) / 芳村 康男(特別会員)</small>	
<b>第96回定期総会報告</b> .....	10
<b>会員の受賞</b> .....	16
<small>笠井 久会氏(平12資)</small>	
<b>追悼</b> .....	17
<small>阿部 準三氏(昭23ソ)</small>	
<b>支部会・クラス会報告</b> .....	18
<small>北水同窓会青森支部平成28年総会 同窓会報告(小樽支部) 北水同窓会釧路支部総会 太平山の会函館開催</small>	
<b>寄稿</b> .....	20
<small>市川 渡(昭22キ) / 金子 哲郎(昭54食) / 松川 広輝(平24増生)</small>	
<b>学位取得者</b> .....	24
<b>卒業生の就職先</b> .....	24
<b>会員の異動</b> .....	25
<b>会員死亡通知</b> .....	26
<b>親潮投稿規定・編集後記</b> .....	26

## お知らせ

## 第97回(2017年)北水同窓会 定期総会 開催予定(予告)

来年の北水同窓会定期総会は、下記日程にて青森市で開催予定です。会員の皆様には是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。(詳細は追ってお知らせ致します。)

- 開催日 / 2017年5月27日(土)
- 会場 / ウエディングプラザアラスカ(4階ダイヤモンドの間)  
〒030-0801 青森市新町1-11-22  
TEL:017-723-2233
- 総会・懇親会 / 18:00~



平成10年5月青森市で開催

## 問合せ先

- (北水同窓会青森支部幹事長) 山口 伸治(昭49化)  
電話 017-773-1926 メール aomori@kaiyodoboku.com  
FAX 海洋土木(株)青森営業所 017-773-1926

## 新・水産生物標本館の竣工

今村 央(昭63ソ) / 河合 俊郎(平12生)

水産科学館は函館キャンパス内にある教育、展示および学術標本保管施設で、北大総合博物館の分館に位置づけられています。この度、水産科学館附属の水産生物標本館の建替えが行われ、2016年に竣工しました。この函館キャンパスの中で最も新しい建物について、建設までの経緯等も含め、この場をお借りしてご紹介させていただきます。

## ■建替えまでの経緯

水産生物標本館として従来は旧・北洋水産研究施設(北洋研)の建物を使用していました。この建物は1960年に大洋漁業株式会社から寄付を受けて建設されたものですが、1987年に北洋研の各研究室が新築された第2研究棟に移転したため、1988年にこの建物を水産

生物標本館として使用することとなり、函館キャンパスに保存されていた魚類、頭足類・甲殻類などの大型無脊椎動物、プランクトンなどの学術標本を収蔵していました。しかし、この建物は築55年を経て老朽化が顕著になっており、2011年の耐震検査で耐震性能ISO 0.26(緊急度ランク1)の判定を受け、耐震上極めて危険な状態にありました。しかも、1993年の奥尻島地震の際に数多くの標本瓶が破損し、溢れた大量のホルマリンが床に染み込んでしまい、ホルマリン臭が抜けない状態が続き、2009年には作業環境測定で第3管理区分である「適切でない」と判断されていました。そのため、入館時にはガスマスクを着用するなど館内での作業環境は劣悪な状態にありました。さらに、魚類学術標本だけでも22万点を越える所蔵標本の数量は施設の収容力を

■新・水産生物標本館の外観



はるかに越え、多くの標本が通路等にあふれて整理できない状態にありました。つまり、さまざまな側面から、旧・標本館はもはや使用の限界に達していたのです。

水産科学館はもともと水産資料館の名称で親しまれていましたが、2007年度に水産学部から北大総合博物館に移管されたときに名称を現在のものに変更し、水産生物標本館の建物も2009年度に総合博物館に移管されました。これにともない、函館キャンパスにある総合博物館施設の整備が北大総合博物館の新規事業に位置付けられることとなりました。北大総合博物館では2010年に旧・水産生物標本館とともに老朽化の著しい水産科学館本館(1957年建設:402㎡)を合わせ、展示スペース、標本収納スペース、ボランティア活動スペースなどを兼ね備えた新・水産科学館(約1,400㎡)の建設計画を立案し、2012~2014年度に概算要求事項として文科省に申請していました。しかし、なかなか概算要求が認められなかったため、本事業を北海道大学の学内事業として検討することとし、そのための調査費が2014年度に認められました。そして2015年2月に北海道大学の2015年度の目的積立金事業の案件として「博物館水産分館整備工事」が認められました。当初は水産生物標本館と水産科学館本館の機能を兼ね備えた施設の建設を計画していましたが、認められた経費ではこの規模の建物を建設することは極めて難しかったため、大学博物館として学術標本の保管環境の整備の重要性を優先すべきと判断し、新・水産生物標本館を新営することとしたのです。

#### ■新・水産生物標本館の規模

新・水産生物標本館は1階建ての建物で、建物の面積は583.2㎡です。以下に内部の設備をご紹介します。

- ・標本収納スペース:479.52㎡(ハンドル式移動棚約520台、強力換気扇等を設置)
- ・標本処理室:51.84㎡(空調設備、強力換気扇、プレハブ冷凍庫、ドラフトチャンバー、写真撮影台等を設置)
- ・教員居室・実験室:32.16㎡(空調設備設置)
- ・コンピュータ室:4.78㎡(データベース関連機器)
- ・トイレ:3.24㎡
- ・手洗いスペース(緊急シャワー設置)

その他にも屋外スペース(327.8㎡)があり、屋根つきの大型標本用FRP収納スペース(152.21㎡)と、大型標



新・水産生物標本館内に収蔵される魚類のタイプ標本群

本の水洗などに使用できる大型シンク(4×1m)が設置されています。

#### ■建設工事の行程(2015年度)

2015年の4~7月までの期間に、標本館の標本を仮移動するため標本瓶等の梱包、ホルマリン標本の密閉容器への移替え等の作業を、この作業のために雇用した専属の技術補佐員と学生・院生の短期雇用によって行いました。そして8月下旬の1週間に標本館の標本の仮移動(移動先は実験棟の大実験室、講堂、駐車場)を行い、9月に旧・建物の取壊し工事、10月から2016年1月にかけて新・標本館の建設工事、2月に移動式標本棚の設置工事、3月上旬に新・標本館への標本搬入を行いました。

#### ■新・水産生物標本館が所蔵する学術標本の特徴

##### ① 魚類標本(約220,000点:液浸)

世界の水圏から収集された魚類学術標本は約3,200種22万点に上り、このうち209種1,302個体は新種記載に用いた学名の基準となっているタイプ標本で、国際規約により恒久的な保存と情報の開示が義務づけられています。これらは北大魚類コレクションとして国際的な

認知をうけ、国内外の多くの研究者に利用されています。また、標本情報は1979年からデータベース化を始め、それらの情報は地球規模生物多様性情報機構(GBIF)を通じて全世界に発信されています。

##### ② 海産無脊椎動物標本(約4,000点:液浸)

主に大型の甲殻類、軟体動物などからなり、特に頭足類の世界的な分類学者であった故佐々木望博士の収集標本65種約280点を含みます。これらの標本群には多くのタイプ標本が含まれており、「佐々木望コレクション」として知られ、国内外の研究者に研究利用されています。

##### ③ プランクトン標本(約33,000点:液浸)

本学附属練習船「おしよろ丸」などの412航海にて採集された約3万3千点で、年代は1957年から現在まで、場所は北極海から南極海までをカバーしています。おしよろ丸は2008年にPICES(北太平洋海洋科学機構)より海洋モニタリング賞を受賞しており、これらプランクトン標本を用いた長期的な生物量データベースの公開活動は、国際的な海洋科学への貢献として高く評価されています。

#### ■期待される効果

分館・水産科学館に所蔵されている標本・資料を活用した学部・大学院教育等の人材育成の場が格段と充実されることが期待されています。具体的には、上述の北大魚類コレクションや故佐々木望博士が収集したタコ・イカ類などの極めて貴重な学術標本を保存・管理す

る環境が大幅に改善され、タイプ標本保管施設としての国際的な信頼に応えることができます。また、標本を利用する学生・研究者等に安全で衛生的な作業環境を提供することにより、教育・研究活動を飛躍的に活性化させることができるとともに、学内外の博物館ボランティア等による標本の整理・保守活動を安全に実施することができ、その効率を高めることが可能になります。その結果として、標本情報のデータベースをさらに整備して国際的な情報発信を充実させることも可能となります。その他にも、水産学部が平成24年度から開講した博物館学芸員資格に関わるカリキュラムの博物館実習や、水産学部オープンキャンパスの魚類分類に関する模擬実験を新・標本館で実施することなども可能になりました。

#### ■今後の課題

しかし、水産科学館には課題がまだ残されています。2015年度の博物館水産分館整備事業では水産科学館・本館の改築等ができず、また平成28年度から老朽建物扱いになったため、通常の使用ができなくなりました。そのため、函館キャンパスでの博物館展示公開施設は当面は水産科学館・別館だけとなっています。したがって、水産科学館・本館に展示されていた生物標本、漁具・施設模型、水産加工品などの資料を今後も一般公開していくためには、水産科学館の展示公開スペースの充実を図るための増築、あるいは新たな建物の建設を要求する必要があります。



新・水産生物標本館竣工式のテープカット。左から矢部衛前水産科学館長、宮下和夫副研究院長、中川光弘総合博物館長、今村 央水産科学館長

## 水産学部卒業生のつどい

### 講演会 進化を続ける水族館

～水族館の過去・現在・未来～

講師 **西田 清徳氏**  
(大阪・海遊館 館長)

日時 平成28年9月24日(土)  
14:00～15:30

場所 学術交流会館 第1会議室

参加申込  
不要



大阪・海遊館 館長。  
1958年生まれ。1982年北海道大学水産学部水産増殖学科卒業後、同大学院水産学研究科博士課程修了(板鰐類の系統分類学)。水産学博士。1989年大阪ウォーターフロント開発(株)(現在(株)海遊館)入社、サメやエイの研究を続けながら、飼育展示、普及教育、調査研究業務に従事、沖縄から大阪まで40時間を越えるジンベエザメの長距離輸送を成功させた。2007年4月より現職。福山大学で「水族館論」(客員教授)、北海道大学で「水族館学」(非常勤講師)の講義を行い、(公社)日本動物園水族館協会の教育普及委員長、近畿ブロック代表理事を務める。主な著書に『魚のエピソード(水族館から)』『以布利 黒潮の魚ジンベエザメからマンボウまで』(第12回高知出版学術賞受賞)『研究する水族館』『日本の水族館』『水族館の現状と課題』など。2015年11月にオープンした(株)海遊館の新施設ニフレは構想段階から開館まで担当、現在、他の水族館の新設やリニューアルの検討委員も務める。

profile プロフィール



講演会終了後、同窓生との懇談会(30分程度)を開催する予定です。

学生諸君は、貴重な話が聞ける機会です。積極的にご参加ください。

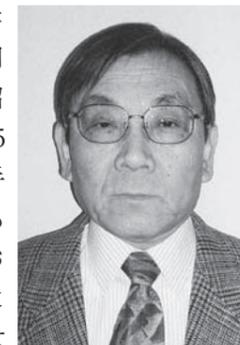


### 退職教員あいさつ

#### 北大を去るにあたって

久万 健志(特別会員)

今年3月31日に水産科学研究院を退職してから3ヶ月が過ぎようとしています。昭和の最後の年(昭和63年5月)に北大水産学部に助手として赴任してから28年間もの長い間、皆様には大変お世話になりました。私は北大水産学部出身ではありませんが、研究と教育において充実した教員生活を送ることが出来ました。



座学とはいえ海外で海洋学について多少なりとも学んできましたが、自分がこれほど船に弱いとは思っていませんでした。赴任してから約10年間は、少しは調査船に乗船していましたが、ほとんど室内実験にて海水・植物プランクトンにおける鉄についての研究を進めてきました。その後、船に弱い私が退職するまでの15年間程は、毎年のように学生・研究者とともに水産学部練習船おしよ丸・調査船うしお丸や他所属の調査船に長期乗船し、北太平洋を中心に日本海、オホーツク海、ベリング海、北極海における海洋の鉄について、グローバルな視点から研究を進める事ができました。調査研究船には他大学や研究所の多くの学生・研究者が乗船しておりますので、その方々とのつながりと水産学部の多くの学生と教員の方々の協力のもとに研究が出来たと思っています。また、今後の海洋における微量金属研究は、若い方々にじっくり取り組んでほしいとも願っています。

教育面では、留学生専門教育教官を5年間、その後学生委員長を2年間勤めました。この期間が最も学生との関わりが強く、苦学している留学生の奨学金や学生の精神面での問題に直面しました。特に学生のメンタルヘルスについて、私自身悩みながらも学生係と協力しながら、なんとか水産学部に専任のカウンセラーの方がいる学生相談室を立ち上げることが出来ました。人はそれぞれ皆違いますので同じ対

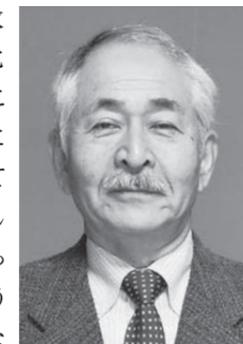
処方法は通用しない事は判っていますが、年々休学や退学する学生が増えている現状をみると、今後どうすべきかを考える必要があると痛切に感じます。

最後に、これまでいろいろお世話になった北水同窓会の皆様深く感謝するとともに、皆様のご健勝と水産学部・水産科学研究院のさらなる発展を願って退職の挨拶とさせていただきます。これからは、世界の中で北大水産学部・水産科学研究院がどのように進化していくかを外から眺めていこうと思います。

#### 退職のご挨拶

五嶋 聖治(特別会員)

今年3月末をもって特任教授も満了となり、34年間の北水教員生活ともお別れすることになりました。この間、実に多くの学生と関わり、そして巣立っていきました。たくさんの事柄も起きました。長かったと思うと同時に、あっという間であったというのも正直な感想です。ただこの間、多くの先輩教員、同僚、職員、そして学生たちに大いに助けられたということだけはまぎれもない事実として、この場を借りて皆様に厚く御礼申し上げます。



「学問に王道なし」と同様に、「教育に王道なし」とつくづく感じた教員生活でした。34年間という年月における学生気質の変化だけでは説明しきれない、多様な学生の存在がありました。こちらとしては同じように接し、同じように教育しているつもりでも、彼らの反応は実に多様でさまざまでした。教員になりたての頃は、若気の至りもあり、大学に出てこない学生を無理矢理呼び出しにアパートに行ったこともあり、親との対応に苦慮したこともあり。今なら、とんでもない行動かもしれません。同じ事を言っても前向きにとらえて伸びる学生がいるかと思えば、

## 退職教員あいさつ

逆に萎縮してしまう繊細な学生もおります。こう教育したら間違いない、という王道はまったくないので。そのことに気づくのに30年以上かかってしまったというのが実感です。それだけ、学生・人間は、反応が容易に予想できる機械とは異なり、多様でおもしろいのかもかもしれません。

いろいろあった教え子達ですが、この3月に退職記念パーティーを催してくれました。わたしとそう年が変わらない頭の白い教え子から、まだ現役の学生まで、多くの教え子が全国から集まってくれました。加えて彼らの子どもさん達も参加してくれ、実ににぎやかな会となり、美酒に酔い、教師冥利というものを感ずることができました。彼らの活躍する場は実にさまざまです。もちろん水産関係者は多いのですが、そればかりではなく、まったく関係ない業種、職場にも多くの教え子が就職し、それぞれ活躍しています。出来の悪い教員でしたが、彼らを見ると、勝手に育ててくれてありがとう、なんとりっぱな社会人に育てくれたのだらうと感動してしまいました。今となってはまさに幸せな教員生活だった34年間でした。

最後に、北大水産学部の益々の発展と、北水同窓会の皆様の益々のご活躍とご健勝を祈念して退職の挨拶とさせていただきます。みなさん、長い間ありがとうございました。

### 退職のご挨拶

桜井 泰憲 (昭48ゾ)

今年3月末をもって退職しましたが、これも多くの皆さまのご支援、ご協力の賜物と、ここに感謝申し上げる次第です。学生時代を含めまして、途中4年間浅虫水族館を経て、43年間も北海道大学水産学部にお世話になったこととなります。



その学生時代から退職までを振り返ってみますと、4年生の時に淡水講座(山本喜一郎先生)でド

ジョウの生殖周期を研究したのが始まりです。そのころ、講座間のソフトボールがさかんとなり、北洋水産研究施設のファーストとして西山恒夫先生にスカウトされ、辻田時美先生のもとで、スケトウダラの繁殖生態を研究しました。1978年冬からは白尻水産実験所に1トン水槽を数台設置して、スケトウダラの繁殖行動を初めて観察しました。この研究の教科書は、スコットランドのVivian Brownさんの研究論文だけでした。最近になって、スケトウダラが大西洋マダラの姉妹種であることが遺伝的に解明され、学名も*Theragra*から*Gadus chalcogramm*に代わりました。スケトウダラと大西洋マダラの繁殖特性が完全に一致することは、私の学位論文の研究で判っていましたが、約35年後の今、遺伝学的にも証明されました。

スルメイカの飼育研究は、浅虫水族館時代の1985年夏、今の天皇・皇后様が青森を訪問することになり、当時の知事命令で始めました。こちらも、日水研の浜部基次先生の論文が私の教科書となりました。多くの方との30年間の共同研究の成果は、北海道新聞社「イカの不思議一季節の旅人・スルメイカ」(2105年夏・発刊)にまとめることができました。1987年の夏、三島清吉先生の一声で、古巣の北洋研・海洋生態学研究室に戻ることにしました。1990年代には、タラ類、イカ類の繁殖生態に関する研究について、多くの学生・院生と一緒に取り組みました。この他、トドなどの鱈脚類の研究も、研究室の長く続く研究としてサポートしました。この過程で、知床世界自然遺産の海域生態系の保全と持続的漁業との共存という課題にも取り組んできました。

教員時代の一番のつらく、嬉しい思い出は、2000年以降の北星丸の廃船、そして「おしよ丸5世の誕生(800トン要求から1600トンへ)」です。4月からは、地元の関係者のご声援のもとで、函館国際水産・海洋都市推進機構の中に函館頭足類科学研究所を設立していただきました。しばらくは、イカ類、魚類の生態、資源変動と気候変化(特に地球温暖化)に関する研究を続け、加えて浜が元気であるためのサポートをして行きます。最後になりますが、皆様の益々のご健勝を祈念申し上げます。

### 北海道大学水産学部を退職して

東京大学大学院新領域創成科学研究科  
芳村 康男 (特別会員)

大学を出てから教育経験などほとんど無いにもかかわらず、22年間勤めた造船所の船の設計の最前線から、教授として北大水産学部へ赴任した。水産については全く素人で、函館に来て右も左もわからない。採用されて初めて知ったが、教授は管理職でなく「ヒラ社員」であること、大学では教員免許がなくても教えられることなど、当初はギャップや戸惑いばかりだった。



水産学部で担当した分野は漁船や漁業機械で、主流の海洋生物や食品・化学とは違い、かなり隅に置かれた分野。漁船事故で毎年数多くの方々が犠牲になる報道を目の当たりにして、これをどう打開すべきかが大きな課題だった。船舶工学の分野から見ると船の主流は客船や貨物船。漁船はマイナーで研究対象にもならない。これはやはり、水産学部でやる他ないと確信して、教育・研究を進めることにした。まず、経験の無かった講義。前任の退職教授からは、「水産学部は理系とは言え、絶対、数式を使っちゃいかん!」と釘を刺された。なんという大学か…

と思いつつ、講義資料を作ったが、やはりサマにならない。そこで、数式にイメージをたっぷり加えた。担当した制御工学と応用数学は工学部でも数式が多くて難解だが、この2科目は履修者のアンケート評価で常に水産学部全体の専門科目のベスト10に入った。「やれば出来るんだ!」教員の役割は教えるのではなく、学生の能力を引き出すこと(educate)。これが教育だと確信した時だった。

研究室を志望する学生は決して多くはなかったが、船の研究をしたい、数式をいじってみたいという学生がいて、毎年、何人かがやって来た。船の研究には模型実験が付きものだが、函館の模型船用実験設備は十分でない。そこで、共同研究などでわが国トップクラスの大規模実験水槽を借りて研究を進めた。ワイワイガヤガヤと実験で遠征するのが研究室の恒例になった。おかげで研究成果も沢山あげることができた。

しかし、やり残したことも多い。若い学生諸君に引き継いでほしいと願ったが、学部はこの分野の終焉を選択した。退職したこの春、研究室の卒業生が多数、横浜に集まった。研究室当時のこと、就職してからのこと、これからのこと、世代を超えた交流の宴は尽きることがなく、16年間この大学で楽しく過ごせたことに感謝の涙が止まらなかった。

短い期間でしたが、皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



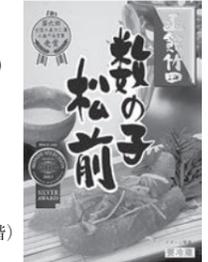
株式会社  
**竹田食品**

代表取締役 竹田寿広

## 食卓に函館の味を



本社工場	函館市浅野町3番10号 TEL (0138) 43-1110 (代) FAX (0138) 43-1113
札幌営業所	札幌市中央区北13条西19丁目1番1号(水産保冷配送センター3F) TEL (011) 623-0990 FAX (011) 644-9910
竹田食品販売(株)	東京中央区築地7丁目5番3号(紀文第一ビル2階) TEL (03) 6226-6820 FAX (03) 3545-2135
竹田食品販売(株) 仙台営業所	宮城県仙台市青葉区本町2丁目9番8号(日宝ビル5階3号室) TEL (022) 772-1970 FAX (022) 722-1987
竹田食品販売(株) 大阪営業所	大阪府大阪市淀川区西中島4丁目3番5号(NLCセントラルビル5階) TEL (06) 6307-5311 FAX (06) 6307-5358



# 第96回 北水同窓会定期総会報告

## 第96回北水同窓会定期総会・支部総会の報告

- 開催日時：平成28年5月27日
- 会場：コートヤード・マリオット 銀座東武ホテル

第96回北水同窓会定期総会及び平成28年度東京支部総会は平成28年5月27日18時よりコートヤード・マリオット銀座東武ホテルで開催されました。

### <思いもよらぬアクシデント発生!>

総会当日の12時半過ぎに羽田空港は大韓航空機のエンジン火災により空港閉鎖という思いもよらぬアクシデントが発生し、空港の全ての便の離着陸が停止となりました。

新千歳空港からの横山清同窓会会長(昭35エ)、函館空港からの荒井克俊(昭51ゾ)幹事長をはじめとする本部のメンバー、その他、鹿児島、大阪より出席予定の会員からの困惑の連絡が相次ぎ、空港で待機するも再開の見通しが立たず無念の欠席となりました。

予期せぬ波乱があったにも関わらず出席者は155名を数え、定期総会も幸い午前の便で東京入りしていた、平松尚志幹事(平5ゾ)と井上品幹事(平5化)の臨機応変の対応により各議案は全て承認され無事終了しました。

引き続き行われた支部総会と懇親会は、山口総長からの北大の近況報告の後、樋口達夫支部長(昭50食)の挨拶と乾杯の発声で賑やかにスタートしました。

例年よりも広めの会場も155名という過去最高の会

員の熱気で溢れ、そこかしこで1年振りの再会を喜びお互いの近況を確かめ合っていました。

途中、「会員活動紹介タイム」と称する 企業や自分の現在担当している仕事や活動の紹介が、若手のパワフルな我が北水の3名の会員と、本年改選期を迎える横山信一参議院議員(昭58ギ)によって行われ、会場の注目を一身に集めていました。

この様に楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後は参加者全員が肩を組み恒例の「水産放浪歌」と「都ぞ弥生」の大合唱で熱気が最高潮に達したところで、細見典男副支部長(昭48食)の中締めで宴は閉会となりました。

尚、本部より次年度の北水同窓会定期総会は5月に青森で開催されるとの案内と、東京支部の総会&新年会は例年通り2月6日(月)に本年と同じ銀座東武ホテルに於いて実施との案内が事務局よりなされました。

この度の定期総会の開催にあたり、沢山の商品協賛を頂いた会員企業様、総会の準備運営に多大なご協力を頂いた、函館本部の幹事、東京支部の関係者の皆様に感謝申し上げます。

東京支部 浜谷 一郎(昭51化)

### ■出席者

#### <特別参加者>

山口 佳三(総長)  
平松 尚志(平5ゾ)  
井上 晶(平5化)

#### <参加者>

今井 忠(昭26セ)  
小山 光(昭29セ)  
小川 法章(昭29ゾ)  
小高 洋(昭29ゾ)  
小泉 守(昭32セ)  
吉村 正昭(昭32セ)  
漆畑 信昭(昭34エ)  
細萱 安彦(昭35エ)  
浅倉 健治(昭36セ)  
石川 光男(昭36セ)  
鈴木 賢一(昭36セ)  
角田 靖雄(昭36セ)  
新田 實(昭36セ)  
西川 雄造(昭36セ)  
町田 建治(昭36ゾ)  
阿部 将(昭37セ)  
斉藤 俊夫(昭37セ)  
澤田 眞治(昭37セ)  
中田 邦雄(昭37セ)  
山成 克二(昭37セ)  
鉢木 和三(昭38ゾ)  
千葉 茂春(昭39セ)  
上林 達雄(昭40エ)  
武部 忠司(昭40セ)  
畦地 清信(昭40ゾ)  
廣瀬 靖則(昭40ゾ)  
風無 成一(昭41ギ)  
真嶋 俊平(昭41ギ)  
松尾 英彦(昭41ギ)  
下村 政雄(昭41ゾ)  
熊谷 克彦(昭43食)  
境 保司(昭43食)  
田中 汎(昭43化)  
重田 親司(昭44エ)

藤井 真一(昭44エ)  
山口 皓(昭44エ)  
福地 光男(昭45ゾ)  
白崎 淳一郎(昭46ギ)  
久保 光太郎(昭46ギ)  
原 彰彦(昭46ゾ)  
細見 典男(昭48食)  
上原 富夫(昭49食)  
上居 隆(昭49食)  
竹田 信一(昭49食)  
高野 富輝夫(昭49化)  
吉田 猛(昭50ギ)  
樋口 達夫(昭50食)  
志村 健介(昭50ゾ)  
品治 二郎(昭50ゾ)  
吉田 和彦(昭51ギ)  
中村 誠(昭51食)  
田中 章夫(昭51化)  
浜谷 一郎(昭51化)  
安田 弘義(昭52ギ)  
石原 隆之(昭52食)  
茅野 徹(昭52化)  
村越 孝(昭53ギ)  
寒江 正博(昭54ギ)  
辰己 宗康(昭54ギ)  
鶴田 和弘(昭54ギ)  
青木 宏行(昭54ギ)  
伊藤 肇(昭54ギ)  
高橋 泰司(昭54ギ)  
長山 宏(昭54ギ)  
光増 安弘(昭54ギ)  
木實 谷浩史(昭54ゾ)  
小山 利郎(昭54ゾ)  
白井 暁(昭54ゾ)  
川村 剛(昭55ギ)  
林 芳彦(昭56ギ)  
渡辺 直哉(昭56食)  
岩井 弘光(昭57ギ)  
諏訪 部俊彦(昭57ギ)  
藤井 淑生(昭57ギ)

伏見 年治(昭57食)  
滝澤 哲也(昭57化)  
藤田 吉宏(昭57化)  
山本 隆(昭57化)  
法邑 一人(昭57ゾ)  
菊池 聰(昭58ギ)  
横山 信一(昭58ギ)  
西 範久(昭58食)  
釣見 泰之(昭59ギ専攻)  
杉村 哲(昭59ギ専攻)  
黒田 哲弘(昭59食)  
舟木 謙二(昭59食)  
奈良 雅夫(昭59ゾ)  
高田 俊道(昭60ギ)  
滝澤 和宏(昭60化)  
上本 浩之(昭61ギ)  
小林 毅(昭61ギ)  
高取 一磨(昭61食)  
中田 邦彦(昭61食)  
坂野 泰弘(昭61食)  
大川 真一(昭61化)  
鈴木 義治(昭62ギ)  
亀井 誠(昭62食)  
工藤 敏之(昭63ギ専攻)  
木根 悟(昭63ギ専攻)  
高橋 薫(昭63ギ)  
河村 卓(平元ギ)  
釜谷 明(平3食)  
讚井 和彦(平3食)  
杉原 伸郎(平3ゾ)  
山田 正克(平4ギ)  
澤村 貴史(平4ゾ)  
松本 偉(平5ギ)  
樋口 智之(平6ギ)  
江下 健一(平6食)  
東 剛己(平6化)  
山野 寺健一(平7食)  
中原 千秋(平8食)  
倉地 宏樹(平9ギ)  
海藤 仁郭(平9化)

折出 真一(平10ゾ)  
島崎 光臣(平10ゾ)  
井上 順之(平11海)  
今村 伸之(平11海)  
鈴木 良一(平11海)  
森 拓通(平11海)  
山口 大(平11海)  
松橋 豊(平11シ)  
福原 庸介(平11生)  
道津 大輔(平11資)  
吉江 洋郎(平11資)  
高橋 信之(平12海)  
佐藤 公彦(昭12海)  
高原 志樹(平12生)  
石ヶ守 英樹(平12資)  
熊谷 光倫(平12資)  
森下 望(平12資)  
天野 春菜(平13生)  
阿部 賢一(平13資)  
鈴木 賢一(平13資)  
高橋 実(平13資)  
荒砥 真吾(平14修生)  
平田 健太郎(平14資)  
山田 悟志(平14資)  
西澤 直晃(平15シ)  
白石 聡昭(平16シ)  
吉田 直人(平16生)  
米谷 博司(平16生)  
中林 裕輔(平16資)  
松倉 広平(平16資)  
澤口 譲(平18資)  
片岡 幸治(平19資)  
北野 広太(平19資)  
間篠 智恵子(平19資)  
上田 鉄也(平20シ)  
川原 創(平23海生)  
前田 和平(平23海資)  
高橋 明宏(平27増生)



山口総長  
平松准教授  
樋口支部長

大円陣

細見副支部長

食中毒検査なら信頼と実績の中山薬品商会へ 一検体@1,000円~承ります。

NAKAYAMA MEDICINES CO. LTD



株式会社 中山薬品商会

代表取締役 中山 一郎

本社 ☎040-0075 函館市万代町20番10号 PHONE (0138) 40-6275・FAX40-3939  
釧路営業所 ☎084-0903 釧路市昭和町2丁目15番地3 PHONE (0154) 52-4101・FAX52-4103  
札幌出張所 ☎065-0031 札幌市北3条東19丁目6番14号 PHONE (011) 299-5493・FAX299-5493

<http://nakayamayakuhin.jp>

第96回 北水同窓会定期総会報告

■総会次第

1. 開会の辞  
幹事長 荒井 克俊(昭51ゾ)※
2. 議長選出
3. 議案第1号  
平成27年度事業経過報告および  
会計決算報告  
(1) 一般経過報告  
幹事長 荒井 克俊(昭51ゾ)※  
(2) 庶務部報告(資料1)  
庶務部 平松 尚志(平5ゾ)  
(3) 編集部報告(資料2)  
編集部 井上 晶(平5化)  
(4) 組織部報告(資料3)  
組織部 山崎 浩司(平2食)※  
(5) 会計部報告(資料4)  
会計部 和田 哲(平4ゾ)※  
(6) 会計監査報告  
監事 清水 晋(昭53ギ)
4. 議案第2号  
平成28年度事業計画および予算案  
(1) 平成28年度役員改選案(資料5)  
庶務部 平松 尚志(平5ゾ)  
(2) 平成28年度事業計画案  
幹事長 荒井 克俊(昭51ゾ)※  
(3) 第97回(平成28年度)定期総会開催地  
(青森)について  
幹事長 荒井 克俊(昭51ゾ)※  
(4) 平成28年度予算案  
1. 会計部予算案(資料6)  
会計部 和田 哲(平4ゾ)※  
2. 編集部予算案(資料7)  
編集部 井上 晶(平5化)  
3. 組織部予算案(資料8)  
組織部 山崎 浩司(平2食)※
5. その他
6. 閉会の辞  
幹事長 荒井 克俊(昭51ゾ)※

■平成27年度 庶務部報告(資料1)

- 1) 新入会員数  
海洋生物科学科 51名  
海洋資源科学科 41名  
増殖生命科学科 55名  
資源機能化学科 46名  
大学院(他大学、他学部出身者) 9名  
修士 5名  
博士 5名  
合計 207名
- 2) 本年度物故者(平成27年度親潮掲載分)  
正・準会員 90名  
名誉、特別会員 1名  
合計 91名
- 3) 会員現在数(3月10日現在)  
正・準会員総数 15,165名  
物故正・準会員数 3,201名  
正・準会員現在数 11,964名  
(内準会員数) (17名)  
特別会員数 72名  
会員数合計 12,036名
- 4) 新入会員を含めた会員現在数(3月15日現在)  
合計 12,243名

■平成27年度 編集部報告

(親潮発行)(資料2)

号数	発行年月日	全頁数	印刷部数	印刷費	摘要	
予算	305号	平27年8月末	本誌 32頁 (内カラー7頁)	8,500	1,000,000	※1
	306号	平28年2月末	本誌 32頁 (内カラー7頁)	8,500	1,000,000	※1
	合計		64	17,000	2,000,000	
決算	305号	平27年9月25日	本誌 32頁 (内カラー8頁)	8,500	954,234	※1
	306号	平28年3月2日	本誌カラー 28頁 (内カラー7頁)	8,500	939,114	※1
	合計		60	17,000	1,893,348	

※1 印刷会社: 祐三和印刷 印刷費には別刷り振替用紙代、消費税を含む

■平成27年度 組織部報告

(名簿会計)(資料3)

項目	予算額	決算額	摘要
収入	前年度繰越金	1,984,347	1,984,347
	一般会計より繰入金簿	1,200,000	1,200,000
	名簿広告料受取	1,500,000	1,265,000
	受取利息		353
合計	4,684,347	4,449,700	
支出	名簿印刷費	3,500,000	3,553,632
	通信・運搬費	300,000	287,000
	次年度繰越金	884,347	609,068
	合計	4,684,347	4,449,700

(繰越金の内訳 ゆうちょ銀行 609,068円)

■平成26年度 会計部報告(資料4)

1) 平成26年度 一般会計決算報告

項目	予算額	決算額	摘要
収入	前年度繰越金	1,617,977	1,617,977
	会親潮広告料	8,400,000	8,570,000
	雑取	180,000	180,000
	雑取	100,000	331,084
	合計	10,297,977	10,699,061
支出	親潮印刷費	2,000,000	1,893,348
	通信・運搬費	1,600,000	1,514,739
	総会旅費	600,000	600,000
	組織強化費	900,000	656,954
	ホームカミングデー経費	300,000	95,648
	備品費	0	0
	消耗品費	200,000	165,940
	会議費	30,000	30,000
	振替手数料	170,000	189,782
	事務嘱託費	2,320,000	2,310,910
	備人費	80,000	65,000
	HP維持費	130,000	75,600
	雑費	20,000	19,705
	OA機器整備費	50,000	50,000
	名簿会計へ	1,200,000	1,200,000
予次年度繰越金	697,977	0	
合計	10,297,977	10,699,061	

収支差引額(平成28年度に繰越)1,831,435円  
(繰越金の内訳: 銀行預金 1,689,866円、現金 141,569円)

2) 平成27年度 OA機器整備費(積立) 決算報告

項目	予算額	決算額	摘要
収入	前年度繰越金	218,895	218,895
	一般会計より積立	50,000	50,000
	受取利息		49
合計	268,895	268,944	
支出	次年度繰越金	268,895	268,944
	合計	268,895	268,944

(繰越金の内訳 ゆうちょ銀行 268,944円)

※注 航空便トラブルのため欠席。平松幹事あるいは井上幹事代読。

■会計監査報告

北水同窓会の平成27年度における会計監査を実施した結果を下記のとおり報告致します。

- 記
1. 監査対象期間 自 平成27年3月11日  
至 平成28年3月15日
  2. 出納簿は、関係書類と対査の結果適正である。
  3. 現金及び預貯金は、出納簿に照合し適正である。

3) 平成27年度 特別会計決算報告

項目	予算額	決算額	摘要
収入	前年度繰越金	19,249,980	19,249,980
	ゆうちょ銀行利息 定期預金(マリンバンク)利息		267 2,178
合計	19,249,980	19,252,425	
支出	次年度繰越金	19,249,980	19,252,425
	合計	19,249,980	19,252,425

○平成27年度 特別会計資産内容

項目	資産額	摘要
郵便定額貯金1口	7,204,000	
ゆうちょ銀行預金	1,115,053	
銀行定期預金(マリンバンク)1口	10,933,372	
合計	19,252,425	

以上

平成28年3月16日

監事 清水 晋 

監事 河原 武利 

第96回 北水同窓会定期総会報告

■平成28年度 役員改選案(資料5) [○は新任]

会長 横山 清(昭35エ)
名誉会長 安井 肇(キ55ゾ)
副会長 鈴木 賢一(キ36セ)
代表理事 今野 久仁彦(キ49食)
学内理事 齊藤 誠一(キ50ギ)
学外理事 山内 彬一(キ26ギ)

梨本 勝昭(キ36ギ)
小祝 良介(キ36エ)
大割 了(キ37ギ)
繪面 良男(キ37セ)
河村 章人(キ37ゾ)

学外幹事 阿部 純也(キ58ギ)
横山 信一(キ58ギ)
佐藤 直孝(キ58食)
吉岡 武也(キ60食)

(滋賀) 澤田 宣雄(キ57ゾ)
(三重) ○石川 輝(平2ゾ)
(大阪) 田中文夫(昭50食)

(福岡) ○村上 憲男(キ51ギ)
(佐賀) ○高橋 寛昌(平13海)

平成28年度 本部常任幹事直通電話番号
市外局番(0138)
幹事長 荒井 克俊(昭51ゾ) 40-5535

■平成28年度 会計部予算案(資料6)

1)平成28年度 一般会計予算案

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 摘要, 収入/支出. Includes rows for income (前年度繰越金, 親潮広告収入) and expenses (親潮印刷費, 通信運搬費).

※総会補助30万円、本部役員会補助10万円、卒業祝い品10万円、各支部との交流補助(支部総会出席等)10万円を含む。

2)平成28年度 OA機器整備費(積立)予算案

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 摘要, 収入/支出. Shows accumulation of funds for OA equipment maintenance.

3)平成28年度 特別会計予算案

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 摘要, 収入/支出. Details budget for special accounts.

○平成28年度 特別会計資産内容

Table with 4 columns: 項目, 資産額, 摘要, 合 計. Lists special account assets like postal savings and bank deposits.

■平成28年度 編集部予算案

(親潮発行)(資料7)

Table with 6 columns: 号数, 発行年月日(締切り), 全頁数, 印刷部数, 印刷費, 摘要. Details budget for magazine production.

※1 印刷会社:(有)三和印刷
印刷費には別刷り振替用紙代、消費税を含む。

■平成28年度 組織部予算案

(名簿会計)(資料8)

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 摘要, 収入/支出. Details budget for organizational matters.

## 会員の受賞

CONGRATULATIONS ON WINNING



### 笠井 久会氏(平12資) 平成27年度 水産学奨励賞受賞

吉水 守(昭47食)

笠井久会氏は「魚類防疫による種苗生産の安定化と漁獲物の衛生管理に関する研究」が評価され、日本水産学会の平成27年度水産学奨励賞受賞を受賞されました。

笠井氏は平成17年に北海道大学大学院水産科学研究科博士後期課程を修了後、COEプロジェクトの学術研究員として水産科学研究院に採用になり、翌18年に北海道大学大学院水産科学研究院助手、19年に助教、平成23年に准教授に昇進されて現在に至っています。

魚介類の種苗生産時に発生する病気は、その後の放流あるいは養殖成績を大きく左右し、防疫対策の確立が急務でありました。学部・大学院生時代から一貫して、病気対策には採卵用親魚の健康管理と使用する飼育用水の管理が重要であることに着目し、健康な親魚の選別法、受精・吸水前の卵洗浄と消毒、発眼卵消毒の重要性を明らかにしてきました。飼育用水および排水の殺菌に関しては、魚類病原細菌、ウイルスならびに寄生虫の紫外線・オゾン・電解水感受性を明らかにし、各飼育施設における飼育用水および排水の殺菌に適した装置の開発と導入効果を明らかにし、さらに、増養殖施設、使用器具、機材の消毒に使用する薬剤の選択をはじめワクチンおよび同注射装置の開発を行ってきました。

一方、増養殖の最終産物である食品としての水産

物の安全性が求められ、安全性の確保・安心感の提供が必須となりました。中でも水産サイドでは漁獲から加工場に至る過程の漁港および産地市場での衛生管理が求められ、漁港で使用する海水をはじめ使用排水の処理や漁港の岸壁、産地市場の床、魚箱等の洗浄に使用する清浄海水の確保に関する研究を行い、紫外線殺菌装置に加え、安価に大量の海水を殺菌処理する装置として、火力・原子力発電所の吸排水管の生物付着防止に使用されている海水電解装置の電極の改良、小型化、構造の簡素化を行いました。上記、魚介類の飼育用水および飼育排水の殺菌の用途に加え、水産物の衛生管理を目的とした漁港や産地市場への導入を可能にし、両装置は水産研究・教育機構をはじめ各県の栽培センターの飼育用水および排水の殺菌に導入され、さらに各地の漁港のみならず、漁船にも搭載され、船体洗浄や殺菌海水の確保に役立っています。最近ではカキの浄化への利用を検討して大腸菌の浄化に効果を上げ、ウニの腸炎ビブリオ浄化についても効果が認められています。これら清浄海水の利用と水産物を地面に置かない運動、さらに鮮度保持を目的とした漁獲物への施氷あるいは水冷清浄海水の利用は、現在進められている衛生管理型漁港構築の基本設計に組み込まれ、食中毒の発生件数減少にも役立っています。今後益々の研究の発展が期待されるところです。

CONGRATULATIONS ON WINNING

## 追悼寄稿

阿部準三氏(昭23ゾ)

根津 允雄(昭19セ)



網走水族館にて  
左から阿部さん、Drボールさん、水族館長本間さん、筆者

謹啓

去る2月28日阿部準三様御逝去の突然の訃報に接し大変な驚きと共に悲歎の日を送っております。昨年末にご入院中と承っておりましたが間も無く回復されてご帰宅されるものと思いつつ病床でも読み取れるような大きな字でお見舞状を認めるつもりでございましたのにそれも出来なくなり申訳なく、そして今にして思えば先年訪函の折に多少無理しても白符のお宅を訪問すれば良かったと残念に思います。

思い起せば、私のライオン社在職中に実施したコンブ種系の改良研究で、従来のビニロン系のものとは異なる複合樹脂系の新素材を、コンブの第一人者であり且つ親友であった北大の大石圭一教授に話をして研究室での実証テストをして貰いました。

その結果、更に実用の価値ありと判断され、それでは実用研究段階でのパートナーを誰にしようかと相談をしたところ、道内で現在コンブ促成栽培の技術改良とその普及に尽力中の同窓23期増殖科卒業の阿部準三様が最適で、余人を以っては代え難い、ということで急遽大石さんと二人で白符のお宅をお訪ねしたのが最初でした。

以来、早速実用テストの行動を開始し道南各地の漁協、採苗センター及び道立栽培総合漁業センターへの新種系の紹介とその実用テストと結果の評価等、一連の仕事について御世話を頂きました。

又同時期には米国アラスカ大学海洋研究所のポール教授と阿部・根津の三人で新種系の用途開発を兼

ねた道内漁業の調査視察旅行を実施しましたがその時も阿部様に格別のお力添えを頂きました。

猶、阿部様とアラスカ大学との関係については昭和62年に同大海洋研究所の客員教授としての招聘を受け3年に亘りジャイアントケルプを中心としての北洋海藻の研究に精励し、同時に北大水産学部との交流にも盡力したとも聞いております。

帰国後は同大研究所員の学術交流で来日した時には、白符のご自宅に招待し御夫婦で宿泊を含めた親身の歓待をされたと幾回も聞いたこともありました。

又、それよりも前の話では昭和45年にはトルコからの要請で2年間に亘り水産高校で教鞭をとりその実績を評価されて帰国時には銅像が建られたとも聞きました。

今年2月下旬に、来る3月26日からの北海道新幹線開通を機にNHKで青函海底トンネル工事の苦闘のTV番組「プロジェクトX」の再放送がありました。その中で木古内入口附近の風景が画面に出た時に「ここは白符のお宅の近くだよ」と家内と話し乍ら見ておりました。いつのことでしたかお宅にお邪魔した折に、白符の浜を散策したことがありました。浜から眺める海上には、面かじ一杯で棧橋に向う大小の船、そして立待岬の上空にはひとかたまりの白い雲が流れている函館山を仰ぎ乍ら、「コンブ養殖業者がもう少しものを科学的に考えてくれたら、沖出した種系の芽落ちの補充に荒波の中での舟上作業なんかする必要がないのにな」「そうだそうだ」と話し合ったことが思い浮びます。その前浜も近頃は沿岸潮流が何かで削られて大分狭くなり浜での仕事が不便になったと漁協の人が云ってましたと二年程前に、阿部様から聞いたことでもありました。

ありし日のあの時、この時を思うにつけ今日のコンブ促成栽培業の発展と盛況の陰には阿部準三様の撓まざる熱意とその努力があったればこそでありましてその御功績は大いに顕彰される可きと確信致しております。

ここに御生前に賜りました数々のご厚情に対し心からなる感謝を申し上げますと共に衷心より御冥福をお祈り申し上げます。(原文ママ)

平成28年3月9日

阿部さた様

クラス会  
報告

北水同窓会青森支部平成28年総会

山口 伸治(昭49化)



1列目右より  
菅野溥記(昭37ゾ)、松宮隆志(昭53ゾ)、吉田由孝(昭56ゾ)  
山形實(昭23ギ)、佐藤立治(昭36遠)、高橋邦夫(昭28ゾ)  
秋葉文和(昭37ギ)  
2列目右より  
金澤 保(昭56化)、川村俊一(昭56ギ)、今井美代子(昭56化)  
小谷みつ美(平19生)、原口健二(昭47ゾ)、宝多森夫(昭51ゾ)  
足助光久(昭40ゾ)、山口伸治(昭49化)  
3列目右より  
山中崇裕(昭62ゾ)、福田覚(平15博増)、菊谷尚久(昭59ゾ)  
池田康(昭51ギ)、遊佐貴志(平17生)  
4列目右より  
渡邊修一(特別会員)、野呂恭成(昭57ゾ)、又井一宣(昭37ギ)  
二本柳茂(昭57ギ)、立花一雄(平元ギ)  
5列目右より  
吉田達(平元ゾ)、小谷健二(平13生)、松谷紀明(平23増生)  
竹谷裕平(平13資)

青森市は、昨年末では雪が少なかったが、年明け後から雪が多く降りだし、結果的に例年どおりの降雪量となっています。

さて、平成28年2月13日(土)、支部会員31名の出席のもと、青森市の「ラ・プラス青い森」にて青森支部平成28年総会が開催されました。

総会では、始めに昨年2月に亡くなられました直江春三氏(昭24ゾ)のご冥福をお祈りし黙祷が捧げられました。

次に、松宮隆志支部長(昭53ゾ)の挨拶、新会員の紹介後、議事に入り、「平成27年収支決算報告」及び「平成28年予算(案)」並びに「本部平成29年定期総会の青森開催について」の審議が行われて承認されました。また、役員改選期にあたり、新支部長に吉田由孝氏(昭56ゾ)他役員9名を選出しました。

続いて、記念写真を撮影した後、高橋邦夫氏(昭28ゾ)の乾杯の発声で懇親会が始まりました。途中で、一人一人から近況報告やメッセージなどの発言がなされるとともに、若手の会員とOBの方々との懇談などで、大いに賑わいました。

最後に出席者全員で肩を組みながら、二本柳茂氏(昭57ギ)の前口上で「水産放浪歌」を、吉田由孝新支部長の前口上で「都ぞ弥生」を大合唱した後、池田康副支部長(昭51ギ)の力強い一本締めと筆者の万歳三唱で閉会となりました。来年も多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。

同窓会報告(小樽支部)

平山 聡(昭54ギ)



前列右より  
山本貞夫(昭46化)、桜庭啓泰(昭46ギ)大野 肇(昭55ギ)  
村松裕史(昭54食)、東 廣(昭29ギ)、藤田征晴(昭31ゾ)  
高山裕斌(昭36ゾ)  
2列目右より  
磯谷揚一(昭49ゾ)、三島康裕(平14生)、藤本崇人(平19生)  
原渕 圭(平24海資)、梅崎真大(平10ギ)  
君島裕介(平26海生)、三宅教平(平16生)、川嶋孝省(昭38セ)  
3列目右より  
長谷川智人(平10食)、木村勇基(平25資化)  
高島一成(昭63ゾ)、片桐尉晶(平2ギ)、亀山喜明(昭63食)  
柴田耕一郎(平7ギ)、平山 聡(昭54ギ)  
上右 大田道代(平3ゾ)

例年に比べて雪の少ない小樽にて、2月12日、平成27年度小樽支部総会が料亭「日本橋」で開かれました。小樽市役所、小樽水産高校を中心に、大先輩から若手まで23名が参加し、総会・懇親会と、和気あいの時間を過ごしました。初参加の方もいて、お互いの近況報

告で盛り上がり、あっという間に時間が過ぎました。その後、2次会でさらに盛り上がったグループもあり、改めて同窓の絆の強さと良さを感じることができました。同窓生が1年ぶりに集う総会、また来年も皆様の参加をお待ちしています。

北水同窓会釧路支部総会

工藤 伸一(昭54ギ)



前列左から  
穂積明(昭47ギ)、藤田正一(昭48食)、針生勤(昭49ゾ)  
福士暁彦(昭59化)  
中段左から  
森内学(昭63ギ)、千葉喜平(昭50ゾ)、神田雄巳(昭55食)  
佐藤秀行(昭50ギ)、松館浩二(昭59ギ)、高柳志朗(昭55ギ)  
麻生真悟(昭60化)、志田修(昭61ゾ)  
後列左から  
野沢恒雄(昭50ギ)、工藤伸一(昭54ギ)、稲川亮(平14生)  
中多章文(昭62ギ)、菅原隆三(昭51ギ)

平成28年6月11日午後6時より、北水同窓会釧路支部総会が釧路市内の「アクアパール」にて行われました。

総会には17名の同窓が出席し、穂積支部長(昭47ギ)挨拶の後、今年から新しい企画として、釧路水産試験場の志田調査研究部長(昭61ゾ)の講演会を行いました。講演は近年の北海道内の水揚げの推移について行われ、全体として漁船漁業の水揚げは減少しているが、オホーツクのホタテ養殖などの増養殖漁業が健闘していることが報告されました。

その後、支部総会を行い事業報告と決算報告が承認された後、新役員9名の選任を行いました。懇親会は藤田副支部長(昭48食)の音頭で開宴し、その後出席者の近況報告、ビンゴ大会を行いました。

支部会は最後に全員で「水産放浪歌」を歌唱し散会しました。

太平山の会函館開催

梶原 善之(昭53ギ)



平成28年2月5日金曜日、函館市深堀町にある居酒屋「田にし」に還暦を過ぎた10名が函館市内からそして遠くは東京から集まりました。共通項は水産学部を昭和51年～53年に卒業した者、40年前にアイスホッケーに若き血を燃やした者です。発端は、アイスホッケー部OBの大村君(昭52食)から「今度、函館でアイスホッケー部のOB戦をやることになった。ついてはみんなで一杯やりたいので、『太平山の会・函館大会』をやりませんか?」という連絡でした。

大村君達、ホッケー部のOBを中心に年に何度か東京茅場町の居酒屋「太平山」で東京在住の水産学部OB達が飲み会をやっているのです。そのメンバーで飲み会をやるという話です。

その要請に応えるために、函館に在住する48年入学の者中心に有志が集まりました。そうして、集まった東京組は伊藤(昭51食)林(昭52ギ)大村(昭52食)二渡(昭52化)宮崎(昭53ギ)というメンバー。お迎えする函館組は飯田(昭51ギ)中尾(昭51ギ)高橋(昭53ギ)清水(昭53ギ)梶原(昭53ギ)でした。(敬称略)

思い出話や近況報告、宴会の場はいつの間にか40年もの時間を飛び越えて大いに盛り上がりました。

翌日本番のOB戦があるとのことで、名残惜しい思いを残して解散となりましたが、数人の老いた若者は大門へと繰り出していきました。

寄稿

## 北方領土での勤労奉仕

市川 渡(昭22ギ)

私達(昭22ギ)は、昭和20(1945)年4月から6月一杯、現在北方領土と言われる千島、国後島の(フルカマップ)と、齒舞諸島の志発島(シボットウ)に別れて学徒勤労奉仕に動員された。仕事はタラバガニの底刺網漁業。船は20トン未満の中古木造船、旧式の磁気コンパス、焼玉エンジンで燃油も粗悪、よくぞ濃霧の中での漂流もなかった。私は国後島組だった。



朝、3時頃起され、夕方3-4時に帰港するパターン。大型のカニが団子のように、芋虫のように揚って大漁が続いた。その網を引っぱり、カニを外すため舷側に揚げ、又引っ張る労働はきつく、正直、時化休漁が待たれたものだ。休漁の日の午前中は、網修理や工場の手伝いに駆り出されたが、午後はお休みとなる。裏の丘に登り、誰がどのように持ち込んだか、小型の手回し蓄音器で軍歌、歌謡曲、外国音楽も併せ聴いた。ささやかな文化的空間だった。

国後島には時たま、60~70トン程の機帆船が北方の島に渡る兵隊さんに乗せて寄港した。若い指揮官は私達の少し年上で、学徒出陣で応召された将校。逆に激励されて別れる時、貴重な煙草を貰ったものだ。後年、あの人達のことを思って心が痛んだ。

戦争当時はまだ、差別、封建制度が色濃く残っていた。そんなことで、地方課長、漁場主任、工場長、技師、総務などは大幹部と呼ばれ、山海の珍味に晩酌?と。中幹部は漁撈長、機関長、工場の職長クラスで、学生はその仲間に入って一汁一菜となる。あとの人達は雑夫(ザップ)と呼ばれ味噌汁だけ。宿舎や食堂は当然別だ。直接、そんな事実を見せつけられ嫌な気持ちになった。

船で沖に出れば畳半分もあるオヒョウ、殻が30cm

以上の帆立貝、カレイやタラも獲れ、良いお菜になる。陸上の雑夫の人達は皆、同郷でご近所、お裾分けは十分。安堵の気持。

大漁が続き会社では万箱祝いと言って、全員に酒肴の配給。学生の我々には何んと、『スルメイカ』だけ。大憤激!!。酒、煙草は大っぴら、差し入れもある。学生一同、仕事はバリバリ、大戦力となっている。我々が居なければ漁業は成り立たない。憤激し激昂するわけだ。

そこで、かねてから睨まれていた会社幹部にストームをかけることにした。最初は笑っていたが、雰囲気を感じて真っ青。会社幹部も事情を知って陳謝!陳謝!。漸く勘弁。皆で飲んで歌って一層楽しい万箱祝いとなった。世の中、甘く見てはいけぬ。

志発島組の話だが、操業中、潜水艦が現れ、カニを掲げて近づくとドンドン去って行く。実はアメリカ潜水艦で作戦が違うのか、当方には無線電信がなく無視されて『お見逃し』、本当は一発轟沈でošimai。

労働に明け暮れた日々の中、学生達にグループ別にテーマが与えられて報告書を提出した。誰れもが殆んど忘れてしまったが、全く偶然にペーパーが発見された。平成4年、志発島組のものが、当時その儘に再現復刊した。全員大喜び、大感激、記憶より記録、保管であった。母校の図書館に寄贈。

国後島組も当然、同じことはあった筈だが、残念にも資料、原稿は逸散して不明、もう再刊の見込みはない。勤労動員下、やはり学生だった。今でも誇りに思っている。

そんな中、国後島の指導教官、故上野元一さん(昭16年12月漁)が当時の日記を全面公開してくれた。カニの測定などの記述の他、『6月14日点呼あり、戦車攻撃挺身切込み訓練』と、これは大八車を敵戦車に見立てて、我々は地面を這って匍匐前進、爆弾?を投げて撃滅するもの。又、奉公袋の点検もあった。中身は?

終戦前後は日本の歴史の中で最も辛い、苦しい時代だった。私達仲間は学科によって徴兵される者もあったが、戦争のことを確実に知っている、最終年代、末裔と思っている。断片的な一部の記憶を辿る一文である。

寄稿

## 北水同窓会大阪支部大歓迎会!!

金子 哲郎(昭54食)

2016年4月16日(土)夕刻、毎月第3土曜日に開催される北水月例会の会場「北水会館」は、「クラーク先生」の教えを受けた仲間が“すし詰め状態”の中で始まった・・・。



ここ数年も含めて新社会人となられたみなさん、卒業おめでとう!

そして、縁あって“白河の関”を超え、社会人の第一歩を大阪でスタートを切られたことを北水同窓会大阪支部は大歓迎します!

田中支部長の“念力”のお陰か、予想を上回るフレッシュな仲間が集結し、小生も38年前の“すすきの”“狸小路”北18条“そして”大門”“五稜郭”・・・ここが北海道の地と錯覚するほどの盛り上がり様でした。新社会人のみなさん!若さという特権を思う存分発揮してください!

“Boys be ambitious!”

大志を抱いて己の職務を全うし、自己実現してください。私は昨年9月にめでたく37年間(一浪してます)お世話になった会社を定年退職しました。退職1年前ごろから北水月例会に参加して、大御所大野大先輩をはじめ、面倒見の良い入江事務局長(いつもメール案内ありがとうございます)等、荒波を超えてきた諸先輩のお話し(内容は参加してのお楽しみ)を伺い、いろいろ考えさせられました。

みなさんをご承知だと思いますが、私は“Boys be ambitious!”の後のフレーズをあるときに知り、あらためて北大の卒業生であることに目頭が熱くなったのを記憶しております。

“Be ambitious not for money or serfish aggrandizement, not for that evanescent thing which men call fame. Be ambitious for the attainment of all that a man ought to be” (敢えて日本語訳は北大OBに失礼ですのではありませんが、“金“や”利己心“を求める大志ではない・・・。この年になると健康であり続けることが大切ですが)

北水同窓会はビジネスの利害関係の道具としてしか考えていない集まりではなく、親身になって相談に乗ってくれる先輩や仲間との憩いの場として、もっと早くから参加していればよかったです。

最後に、北水同窓会大阪府支部は毎月、第3土曜日、17時から開催しております。順風満帆な時、窮地のどん底の時、なんとなく行ってみようかなと思った時、等々・・・勇気を出していくほど敷居は高くないので、軽い気持ちで立ち寄ってみてください。

“人生 一期一会” ですよ

歓迎会参加者名簿 28名

大野 正浩(昭36セ)	上田 稔(昭45化)
入江 和彦(昭45ギ)	田中 文夫(昭50食)
室井 智子(昭50食)	大村 泰治(昭51食)
玉置 純(昭51ギ)	金子 哲郎(昭54食)
佐々木雅人(昭56化)	廣瀬 裕(昭59食)
藤井 英嘉(昭61ギ)	川邊 一郎(平3ゾ)
嶋本 晶文(平4化)	小田 哲也(平4ギ)
内田 英伸(平5食)	藤原 匠逸(平13生)
櫻井 遥平(平19生)	山中 智之(平19生)
岡田 初美(平20生)	高塚 直(平21生)
桑田 勝也(平21生)	今井 雅志(平22資化)
松川 広輝(平24増生)	小西 慶典(平24資化)
高谷 直己(平25資化)	石野 魁盛(平26増生)
百田 和幸(平26海生)	浦杉 朝子(平26海生)

寄稿



## 大阪府支部 初めての「祝卒業・新社会歓迎会」

松川 広輝(平24増生)



2016年4月16日(土)、大阪の街の真ん中で寮歌が掛けられました。「明治20年度寮歌あーっ!横山芳介君作歌、赤木顕介君作曲。都ぞ弥生ッ!…アイン、ツヴァイ、ドライ!」

この日、北水同窓会大阪支部では、関西で新社会人となった水産学部出身者のために歓迎会が開催されました。

事前に田中支部長から、「歓迎会に人がなかなか集まらない…」と伺っていたのですが、北大会館(JR大阪駅前にある!)に到着すると、えらく騒がしい様子です。「こんにちは…」と、恐る恐る中に入ってびっくり、会場は寿司詰め状態です。直前に参加者が増え、なんと、28名もの方が集まったのです。

今回その中で歓迎を受けたのは12名。大阪支部での歓迎会は久しぶりということもあり、ここ数年間に関西で新社会人となった人は皆、盛大な歓迎を受けました。

かく言う私も歓迎していただきましたが、北水同窓会の集まりに参加したのは実は3回目だったりします…。他の11名の方は初めての北水同窓会大阪支部と

いうことでしたが、周りの和やかな雰囲気のおかげで緊張することもなく、会が始まる前から楽しそうな様子でした。

そして、皆が集まったところで早速、歓迎会開宴!会が始まってからは和やかな面だけでなく、大阪支部の熱い面も垣間見えてきました。まず、最初に用意された飲み物が「サロベツ牛乳!」いきなり何とも北海道らしい歓迎です。その牛乳を片手に順々に自己紹介をしていくのですが、北水同窓会への想いが溢れる話が多々あり、ついには自己紹介に取らず、大阪支部の歴史についての話もありました。

29年前、先代おしよる丸の大阪寄港を歓迎するために集まったのが、実質的な大阪支部の始まりなのだそうです。(その頃の大阪支部は名ばかりの状態、あまり活発に活動していなかったそうです。)おしよる丸の大阪寄港で大阪のOB・OGが久々に集まったことが契機となり、それから現在に至るまで、月に一度の月例会など、様々な活動を続けられています。

しかし、近年は段々と若手が集まりにくくなっているとのこと。確かに一昨年、私が月例会に参加した際に

は20~30代は皆無、若い人が集まるというイメージではありませんでした。一方で昨年、おしよる丸V世の大阪寄港を歓迎した際には20~30代の方もたくさん集まっており、世代交代の機運を感じました。おしよる丸で始まった同窓会ならば、おしよる丸で再出発ということでしょうか。ですから、田中支部長が自己紹介に絡めて、おしよる丸からいただいた新・旧2枚の北水旗を出したとき、私には何か象徴的なものに見えました。何となく、「新しい北水旗を象徴に、新しい世代が中心となって大阪支部を支えないといけないなあ」などと考えていたのも、皆さんの北水同窓会に対する熱い想いに感化されてのことに違いありません。(笑)

自己紹介が終わり、歓談が始まると、大阪支部は熱い人々の集まりだと再度気づかされました。大阪支部のメンバーのパワーは伊達ではありません!「仕事何やってんの?」「この論文読んでみい。」「なんでも相談しいや。」と誰ともなく会話の輪に参加しては、グイグイ話を引っ張ります。ワイワイと楽しく会話が進むこと、進むこと。話し通すうちに、あっという間に時間が過ぎていました。

歓迎会に参加して、北水同窓会の大きな働きは「人と人とのつながり」を強めることなのだと改めて感じました。大阪支部には、仕事で普段からお世話になっている方もいれば、まるで知らなかった業種の方まで、様々な方面で活躍されている方々が集まっています。とは言え、ここに来れば皆、元北水産学部で学んだ者同士。私をはじめとする関西で働く人間にとって、仕事の悩みから人生訓まで幅広いことを、壁を取っ払って、仲間として共有できる場でもあります。何か問題に



ぶつかったとき、(ぶつかっていない時も、)多様な人と共に、広い見地から物事を見るいい機会になります。気軽に参加してみる価値があると私は思います。

もちろん今回も多くの先輩方と交流し、楽しみや悩みをいっぱい吐いて、聴いて、共有し合える場になったと思います。そして、歓迎会で親交を深めた後は、皆それぞれに夜の大阪の街に消えていきました…(笑)。

さて、冒頭の寮歌は歓迎会の終わりに大野氏が掛けてくださったものです。私の知る前口上「我等が三年を契る…」は、元々は別の寮歌の前口上だったものが、ある時期から「都ぞ弥生」でかかるとなったと聞いております。ですから、大野氏のそれは、それ以前に歌い継がれた寮歌の形でしょう。そんな歴史を感じる大先輩方(失礼!)と出会えたのも何かの縁。引き継がれてきた北水同窓会という伝統の船を、私たちの世代が新しい風となって、更に前へと進めていきたいと改めて思っています。

末筆となりますが、新社会人歓迎会という場を設けていただいた、大阪支部の方々には大変感謝しております。本当にありがとうございました。



□学位取得者【平成28年3月取得】

片山 貴士	日本海西部海域におけるトラフグはえ縄の漁獲特性の解明と漁業管理への応用のための基礎的研究
阿部 義之	親潮域の春季植物プランクトンブルーム期における動物プランクトン群集の生態に関する研究
稲葉 信晴	Distribution and characteristics of algicidal and growth-inhibiting bacteria in coastal sea and seagrass beds (沿岸海域及びアマモ場における殺藻細菌と増殖阻害細菌の分布と特性)
金森 誠	北海道における外来種ヨーロッパザラボヤの生物学的特性とホタテガイ養殖への影響
蘇 宇	洞爺湖産ヒメマスの資源評価と資源管理
Emmanuel Andrew Sweke	Social-ecological studies to sustain local fisheries at Akkeshi and Erimo, Eastern Hokkaido, Japan (北海道東部えりも町と厚岸町における持続可能な漁業のための社会生態学的研究)
中村 充博	漁船の転覆とブローチングに関する研究
西澤 文吾	コアホウドリの繁殖期における採食生態
泉 ひかり	ニホンウナギの卵質に関わる母性 mRNA に関する研究
遠藤 琢	太平洋クロマグロ <i>Thunnus orientalis</i> の人為繁殖に関する研究
杜 磊	Studies on antitumor and anti-cachectic activities of eicosapentaenoic acid-enriched phospholipids derived from marine echinoderms (棘皮動物に豊富な EPA 結合型リン脂質の抗腫瘍ならびに抗悪液質作用に関する研究)
西澤 瑞穂	アルギン酸オリゴ糖修飾を利用した抗炎症魚肉タンパク質の開発に関する食品生化学的研究
前林 衛	チョウザメの多型ピテロジュニンに関する分子生物学的および免疫生化学的研究
蛭谷 幸司	北海道産低利用魚種のすり身化およびホッケの加熱ゲル形成能の再評価に関する研究
Shelah Mae Buen URSUA	Studies on seed production and genetic markers for stock enhancement of seahorses (タツノオトシゴ類資源増殖にむけた種苗生産と遺伝マーカーに関する研究)

□平成27年度 卒業者(学部)・修了者(修士・博士)の就職先一覧

学部

(株)村田製作所／(株)クレスコ／群馬県渋川市役所／兼松(株)／北海道信用漁業協同組合連合会／静岡県庁／ユーストリー(株)／ NCS&A(株) 全国さんま棒受網漁業協同組合／水産庁／三菱自動車工業(株)／札幌市役所／全日本海員組合／島根県庁／(株)エコノス／日本航空(株) いなば食品(株)／ NEC ネットソリューションズ(株)／(社)日本海事検定協会／函館工業高等専門学校／リベラ(株)／サントリー(株) (株)シジシージャパン／三重県教育委員会／東亜建設工業(株)／北海道庁／東日本電信電話(株)／西日本ニチモウ(株) 日本コンピュータサイエンス(株)／(株)タカミヤ／(株)セイコーマート／日本放送協会／アクセンチュア(株)／(社)日本海事検定協会 (株)十六銀行／平田法務総合事務所

修士

北海道庁／(株)ローソン／(株)メニコン／伊藤ハム(株)／丸美屋食品工業(株)／(株)日立製作所／(株)NTTドコモ／ベル食品(株)／宮城県庁 イオンリテール(株)／新日鉄住金／(株)シジシージャパン／産業技術総合研究所／日水製菓(株)／(株)住化分析センター／(株)資生堂 ケンコーマヨネーズ(株)／札幌市役所／(国研)水産総合研究センター北海道区水産研究所／(株)がまかつ／(株)ニトリ／八戸缶詰(株) 丸大食品(株)／高砂香料工業(株)／(株)データベース／日本工営(株)／(株)川本製作所／大塚製菓(株)／三井製糖(株)／(株)アルファ・アソシエイツ ライオン(株)／マルハニチロ(株)／ソフトバンク(株)／高知県庁／(株)新興出版社啓林館／北日本港湾コンサルタント(株)／味の素(株) (株)水圏科学コンサルタント／日清食品(株)／雪印種苗(株)／有限会社ラマイコーポレーション／LITALICO(株)／よつ葉乳業(株) アサヒビール(株)／栗田工業(株)／プリマハム(株)／アサマ化成(株)／(株)北洋銀行／双日(株)／(株)クマシロシステム設計／朝日放送(株) (株)テクノプロ／日研トータルソーシング(株)／香川県漁業協同組合連合会／(株)シジシージャパン／(株)J-オイルミルズ／東洋冷蔵(株) 日立ハイテクノロジー／(株)セイコーマート／宇都宮市役所／(国研)水産総合研究センター／昭和産業／(株)極洋／日本たばこ産業(株)

(株)ニチレイフーズ／イオンモール(株)／ NS ユナイテッド海運(株)／森永乳業(株)／(株)DNP情報システム／富士通(株)／(株)西松屋チェーン (株)ニチレイロジグループ本社／国土交通省／北海道小樽水産高等学校教員／(株)飯田商店／(社)北海道軽種馬振興公社 日本農産工業(株)／ヤマサ醤油(株)／久光製菓(株)／アイテック阪急阪神(株)／日立ソリューションズ／兼松(株) (財)リモート・センシング技術センター／越後製菓(株)／ユニアデックス(株)／新日本海フェリー(株)

博士

北海道立総合研究機構函館水産試験場／北海道立総合研究機構網走水産試験場／北海道立総合研究機構／タンザニア国立水産研究所 弘前大学／日本水産(株)／(国研)水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所／(国研)水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所 北海道立総合研究機構／ジャパンマリンユナイテッド株式会社／むつ市役所／ University of Trunojo Madura 北海道立総合研究機構室蘭水産試験場

□会員異動

○平成28年3月31日付 退職

久万 健志 大学院水産科学研究院教授が任期満了のため退職  
 五嶋 聖治 大学院水産科学研究院教授が任期満了のため退職  
 桜井 泰憲 大学院水産科学研究院教授が任期満了のため退職  
 芳村 康男 大学院水産科学研究院教授が任期満了のため退職

○平成28年4月1日付 採用・異動等

山村 織生 大学院水産科学研究院准教授に採用  
 和田 哲 大学院水産科学研究院教授に昇任  
 向井 徹 大学院水産科学研究院教授に昇任  
 今村 央 大学院水産科学研究院教授に昇任  
 工藤 勲 大学院水産科学研究院教授に昇任  
 飯田 高大 水産学部附属練習船おしよ丸三等航海士が水産学部附属練習船うしお丸二等航海士・助教に配置換・昇任

見つめ直そう。  
 健康的な食生活に魚のある暮らし。

青森市中央卸売市場

中水

青森中央水産株式会社

代表取締役社長 石川 栄一

〒030-0183 青森市卸町1番1号  
 鮮魚部 TEL 017(738)1281  
 冷凍部 TEL 017(738)8221  
 塩干部 TEL 017(738)5511  
 加工部 TEL 017(738)6581  
 企画部 TEL 017(738)1281  
 管理部 TEL 017(738)1181

ホームページ <http://www.aochuu.co.jp>

## 会員死亡通知

等々力 信(昭15セ)平成28年 6月18日 小野里 坦(昭37ソ)様より  
 宮本 方正(昭17ヨ)平成28年 3月11日 ご家族様より  
 田中 光常(昭19ソ)平成28年 5月 6日 三浦汀介(昭45ギ)様より  
 山田 栄蔵(昭19ソ)平成16年 ご家族様より  
 石栗昭之助(昭23ギ)平成28年 5月20日 井部 勉(昭23ギ)様より  
 大谷 良一(昭23ギ)平成27年 8月 9日 齋藤昭二(昭23エ)様より  
 中谷 祐三(昭23セ)平成21年頃 ご家族様より  
 阿部 準三(昭23ソ)平成28年 2月28日 根津允雄(昭19セ)様より  
 松崎 康人(昭23ソ)平成27年12月 2日 ご家族様より  
 宮崎 昭雄(昭24セ)平成25年頃 ご家族様より  
 野村 三郎(昭24ソ)平成25年 1月 9日 沼 美知子(昭30セ)様より  
 田淵潤一郎(昭25セ)平成28年 2月 4日 ご家族様より  
 納谷 昭虎(昭25セ)平成27年 4月 7日 ご家族様より  
 山内 彬一(昭26ギ)平成28年 5月26日 ご家族様より  
 湯沢 秋男(昭28セ)平成28年 2月13日 宮島雅幸(昭28セ)様より  
 物心 巖(昭29ギ)平成28年 1月25日 鈴木賢次(昭29セ)様より  
 池上 勲(昭29セ)平成24年 4月 鈴木賢次(昭29セ)様より

岩橋 彦一(昭29セ)平成28年 2月 5日 伊藤 一(昭29ギ)様より  
 大竹 康夫(昭29セ)平成28年 4月 4日 伊藤 一(昭29ギ)様より  
 棚部 保徳(昭29セ)平成24年10月 鈴木賢次(昭29セ)様より  
 小林 照則(昭30ソ)平成27年 9月25日 ご家族様より  
 平井 晋(昭34エ)平成28年 1月19日 菊地英樹(昭34エ)様より  
 辻村 鉄蔵(昭34セ)不明 山田 俊(昭33セ)様より  
 齊藤 勝男(昭34ソ)平成28年 2月28日 ご家族様より  
 横山 文男(昭35エ)平成28年 6月16日 ご家族様より  
 野口 賢郎(昭36セ)平成28年 3月 9日 ご家族様より  
 松行 俊一(昭38エ)平成28年 2月 5日 ご家族様より  
 今井 善之(昭38セ)平成26年 4月 松島興志(昭38セ)様より  
 北原 直(昭38セ)平成26年 7月 塩谷 優(昭42セ)様より  
 長尾 智明(昭41エ)平成26年 9月 ご家族様より  
 原田 英紀(昭41セ)平成28年 2月26日 ご家族様より  
 柳平 寛幸(昭45ソ)平成28年 6月18日 藤島浩晃(昭52ギ)様より  
 片岡 郁夫(昭55化)平成28年 4月15日 札幌市役所支部様より  
 新川 智昭(昭56ソ)不明 酒井光夫(昭56ソ)様より

### お詫び

親潮306号での川端昭治(昭28ソ)様の物故連絡は市内の同名の方との間違いでした。こちらの確認不足でご本人様及び関係者各位にはご迷惑をお掛けし、深くお詫び申し上げます。

## 親潮投稿規定

### 【寄稿、支部・会員便り、会員の受賞、ご案内など】

一つの投稿につきA4版・1ページ(2000字程度)までとする。この制限以上の長文あるいは連載を希望される場合は2号分までとする。写真を入れる場合、その分の文字数が減る。また写真はホームページに掲載することもできる。原稿は、同窓会宛に封書で郵送するか、同窓会のメールアドレスに送付することとする。

### 【同窓生の声】

同窓会誌に対する意見、感想などについての投稿とする。個人的な連絡は掲載しない。一つの原稿につき300字までとする。同窓会宛のメール(hokusuialumni@gmail.com)のみ受け付ける。写真は入れられない。

## 【編集後記】

平成28年度「親潮」第1号(通算307号)をお届けします。

特集「北水の今」では、平成28年3月に新築された水産生物標本館について、建替えまでの経緯、設備、学術標本の特徴などの紹介とともに掲載いたしました。水産生物標本館の記事は、北海道大学総合博物館分館 水産科学館 館長 今村 央教授と同博物館 河合俊郎助教にご執筆頂きました。皆さまには、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

水産科学館は1958年に開館し、収蔵する貴重な学術標本の管理等を通じて国内外の学術研究の発展に寄与しています。同時に、水産関係の知識を一般に普及するため、平日10時から16時まで一般公開しています。工夫を凝らした展示となっておりますので、水産学部にお越しの際は、是非お立ち寄り頂ければと思います。

平成28年度第二号は通算308号目の親潮になります。原稿の締め切りは平成29年1月13日(必着)とさせていただきます。寄稿につきましては、郵送もしくは電子メール(hokusuialumni@gmail.com)にて受付をしております。支部報告や同期会報告、著書の紹介など、皆様ふるってご投稿ください。詳しくは左記の親潮投稿規定をご覧ください。

(編集幹事/笠井久会 平12資)

平成28年8月発行

北水同窓会 〒041-8611 函館市港町3-1-1 TEL & FAX.0138-42-3681  
E-mail:hokusuialumni@gmail.com



## 海洋土木株式会社

〒104-8139 東京都中央区銀座3-9-1 TEL:03(3544)5511

代表取締役 木實谷浩史(54ソ) 取締役副社長 石井直志(49ソ)  
 取締役札幌支店長 佐々木洋(53ギ) 青森営業所長 山口伸治(49化)  
 北陸営業所長 魚住昭文(52ギ) 札幌支店部長 日和久典(平6ギ)

交通事故、労働災害、医療過誤、倒産、債務整理、サラ金破産  
 個人再生、未払い残業代請求、離婚、相続、遺言、成年後見

相談料は全て無料です

# 吉原法律事務所

札幌弁護士会 弁護士 吉原美智世  
 (昭和48年増殖学科卒業)

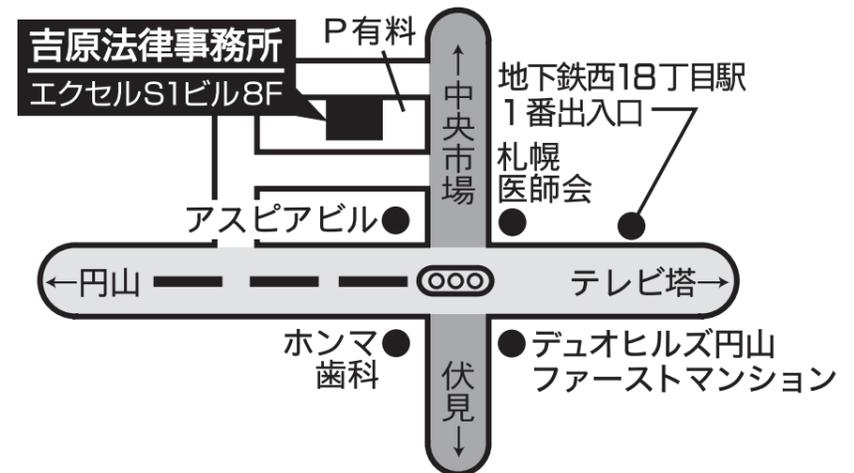
お気軽にお問い合わせ下さい

TEL 622-7963 FAX 622-8414

札幌市中央区大通西20丁目2-20(エクセルS1ビル8F)

(交通)東西線西18丁目地下鉄1番出口

(E-mail) lawyer@yoshihara-lawoffice.jp



営業時間においでになれない方はご相談下さい。



# 株式会社 釣 八

URL <http://www.tsuru8.co.jp/>

よく間違えられますが、「つるはち」って読みます。

社長の名前が「つるみ」だから。

世界中の海から、イカ、赤魚、サバ等なじみのある水産物を、

いま、求められるかたちにして、お届けできるように奮闘努力刻苦勉励

代表取締役社長 釣見 泰之(昭和59年 漁業学科卒)

【水産学部卒業社員】 土井 倫行(昭和60年卒) 奥田 和人(昭和60年卒)

## 本社

〒104-0042 東京都中央区入船3-8-7 ザ・ロワイヤルビル2F

TEL03-3297-8883 FAX03-3297-8885

八戸支店 〒031-0082 青森県八戸市常海町13-2 サンデュエル内丸1203 TEL 0178-71-3488

銚子支店 〒288-0051 千葉県銚子市飯沼町186-93 八木友ビル2F TEL 0479-25-8822

大阪支店 〒550-0015 大阪府大阪市西区南堀江3-14-12 イイダビル2-2A TEL 06-6532-8886

福岡支店 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-18-28 フクオカビル7F TEL 092-401-8828

## 関連会社

築地:(株)釣十(マグロ仲卸) 中国:大連釣八(水産物加工)

アメリカ・ロスアンゼルス:フィッシングエイト タイ・バンコク:釣八タイランド

## 株式会社 グローバルスタッフィング

労働者派遣事業許可番号:派13-306347 職業紹介事業許可番号:13-ユ-307639

株式会社グローバルスタッフィングは、水産商社株式会社釣八の関連会社として設立され、釣八の顧客である水産加工業での人手不足に対応するためにミャンマー、ベトナム等よりの人材の紹介・派遣を行うことから始まりました。

## 人材紹介!

### 人材をお探しの際はご連絡ください!

～研修生 実習生 就労ビザ アルバイト紹介等～

〒104-0042 東京都中央区入船3丁目8番7号ザ・ロワイヤルビル5F

TEL 03-6228-3078